

# ナイス Smile (笑顔) 賞



ナイス Smile (笑顔) 賞は、地域活動を頑張っている方、ボランティア活動で頑張っている方などにお話を聞き、その笑顔を広めていくコーナーです。

今回は、前回のナイス Smile (笑顔) 賞、大槻重二さんからのご紹介で、西根秀雄さんをご紹介します。

## 西根秀雄さん (30区)



…地域ではどのような活動をされているのでしょうか。

西住地区子ども会育成会の会長を務めていますので、その活動をメインに、西住小スクールガードや西住小の学校評議員など、子どもに関わる地域活動に取り組んでいます。子どもたちと一緒に、公園清掃、資源回収、野外活動、おはやしの練習・披露など、一年を通して行事があります。

…子どもに関わる活動を始めたきっかけは？

西住小学校が開校して今年で30年になるのですが、その時に小学校の子どもがいたもので、PTAや地区親子会の立ち上げに関わりました。その後も、少年野球チームの監督をやったり、気が付けば長い間地域の子もたちと一緒にいろいろな活動をしてきました。卒業生のことは大体覚えていますが、大人になった姿をたまに見かけると、うれしくなりますね。

…現在取り組まれていることは？

西住小学校の子ども達の有志で「おはやし会」を結成し、夏祭りでの披露に向け練習中です。約60名の子ども達が週に2回、夜に集まって一生懸命練習しています。中学生も指導に駆け付けてくれて、西住の子ども達は学年間の良い交流が出来ていると思います。15年ほど前から取り組んでいますが、おはやし会の指導者の方々、西住小学校、西住子ども会育成会・西住親子会の皆さんの協力、そして地域の方々のご理解があつて、ここまで出来ているのだと思っています。迫力満点のおはやしは8月3日(土)の30区夏祭り(会場:西住児童館)で披露しますので、是非お越しください。



1年生から6年生まで、夏祭りに向け特訓中です！

…今後に向けて一言お願いします。

これまで、数多くの西住の子ども達を見守ってきましたが、私一人だけで何かをしてきたのではなく、区、育成会、親子会、PTA、老人会、婦人会など地域の皆さんの取り組みが、地域で子どもを育てていくことに繋がっているのだと思います。これからも、子ども達の笑顔を糧に、地域の子もたちを見守り、育てていきたいと思っています。

このコーナーでは、今後も素敵な“笑顔”を皆様にお届けしてまいります。



7月に入り、早いもので今年も半分が経ちました。夏至を過ぎて少しずつ日が短くなっていきますが、貴重な日照時間を有効に活用したいものです。

7月7日は「はなみちゃん」の1歳の誕生日です。ゆる.ぶらでは28日にイベントが開催されますので、是非お越しください。

ゆる.ぶらスタッフより

(お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる.ぶら (イオンタウン柴田内)  
電話 86-3631 FAX 86-3641  
eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp  
開館時間 10:00~18:00  
<7月の休館日:1日、8日、16日、22日、29日>

■柴田町まちづくり政策課  
電話 54-2111 FAX 55-4172



# 回 覧

しばたまち交流ひろば

# ゆる.

# ぶら倶楽部



2013.7.1 ニュースレター第36号

## 体験会レポート

### 『あじさいの貼り絵作り』6月1日(土)実施



バランスを見ながら花や葉をのせていきます。



おばあちゃんと二人で仲良く制作♪



ピンセットを使って慎重に・・・



先生からアドバイスをもらいます。



一枚一枚でいねいに糊付け。



文字も入って素敵に仕上がりました！



講師の陶久さん

参加者の感想・・・  
楽しかったです。もっといろんな貼り絵をやってみたいです。

陶久さんの感想・・・  
同じ作品でも一人ひとりの個性が出ていて良かったです。これをきっかけに「何かを始めてみよう」と思っていたら幸いです。

## 6月のギャラリー展示の様子

### ◎【お花の貼り絵】展 (5月28日～6月9日)



様々な種類のお花があり、一枚一枚雰囲気が違います。



制作者: 陶久尚子さんより・・・  
 「立体的ですね」展示に訪れた方からこういった感想をもらいました。『少しでも本物らしく』を念頭に、自己流で作ってきました。展示期間中に実施した体験会も私自身とても勉強になりました。書写教室の方々にも大変お世話になり、皆様に支えられていると感じました。

### ◎【珍客-白石川のナベ鶴】写真展 (6月11日～6月23日)



一羽のナベ鶴を撮ったとは思えないほど、数々の生きる姿をとらえた素晴らしい写真展でした。



撮影者: 佐藤明さんより・・・  
 シベリアから九州に飛来するナベ鶴が、たった1羽だけ群れからはぐれてしまい、白石川にやってきました。警戒心の強い鶴の保護のため、九州では相当離れた場所からでないとい観測できないので、近くで撮影できるのは生物学的にも大変貴重な体験でした。カモメの集団に襲われても果敢に戦いながら生き抜き、約2ヶ月後シベリアへ帰って行ったと思われます。無事に群れに帰ってくれることを祈っています。

※6月25日(火)から7月7日(日)まで開催予定だった、「加茂礼子イラスト展」は、都合により延期となりました。7月7日(日)までは、「オープンガーデン 2013 写真展」を開催しています。

## まちづくり推進センターからのご案内

### 活動団体紹介

## 槻木囲碁・将棋教室



#### ◆38年の歴史◆

槻木囲碁・将棋教室は、昭和50年の発足以来、メンバーが世代交代しながら長年活動を続けており、現在は、31名(男性28名、女性3名)の会員で活動しています。槻木生涯学習センターで毎月第2・4日曜日に、囲碁・将棋の技能向上に向けて研鑽をしつつ親睦を深めています。

#### ◆囲碁・将棋を通じて◆

会員同士の研鑽・親睦活動の他に、子ども達に囲碁・将棋を通じて礼儀作法を学んでもらおうと、毎週火曜日の放課後に槻木児童館の子ども達に指導しています。放課後の短い時間の中で、ただ単にルールや技術だけを教えるのではなく、大人と接しながらマナーを身に付け、感謝する気持ちを育てていければと思っています。会員も子どもと接することで、元気をもらっています。

また、まちづくり推進センター(ゆる.ぷら)では、毎月第1木曜日、第3土曜日に、囲碁・将棋の普及と交流を目的に、会員が指導役となり無料開放教室を開催しています。小学生から高齢者まで、去年は延べ500名以上の方の参加がありました。熱のこもった対局に、時間を忘れてしまうほどです。町外からの参加者もいるなど、無料開放教室を待ちわびている方もいて、囲碁・将棋を通じて良い交流ができていると思います。月2回の取り組みですが、高齢者の引きこもり防止にも一役買うことができれば幸いです。

その他にも、槻木生涯学習センターが主催する、新春囲碁・将棋大会の協力支援を行うなど、年間を通じて精力的に活動を行っています。

#### ◆お気軽にご参加ください◆

日本の伝統文化である囲碁・将棋は、だれでも気軽に楽しむことができます。頭の体操にもなりますから、高齢者の方にもお勧めです。ルールが良くわからない方でも、会員が丁寧に指導しますので、まずは、無料開放教室をのぞいてみてはいかがでしょうか。また、随時会員を募集しています。私たちと一緒に囲碁・将棋を楽しみ、交流の輪を広げる活動してみたい方は、是非ご入会ください。



無料開放教室は、子どもから高齢者まで多くの方で賑わいます。

(お問い合わせ) 槻木囲碁将棋教室 理事 佐藤良幸 ☎55-4365